

だって ここで生まれたんやもん

4歳児

クラスで飼育していたアゲハチョウの幼虫が、この日元気に蝶になりました。飼育ケースのふたを開けて子ども達が見守る中、蝶はみんなのそばをしばらく離れずひらひら飛んでいました。

るりか 「さみしいのかな」
はる 「まだここにいたいんやね」
ようすけ 「もも組のことが好きなんだね。きっと」
みな 「だってここで生まれたんやもん」

するとそこへ別のアゲハチョウが1頭近づいてきました。

さち 「こっちにおいでと言ってるね。」
まお 「一緒に遊ぼうって言ってるね」
はる 「お友だちができてよかったなあ」
保育者 「なかなか行かないね」
るりか 「やっぱりさみしいねん」
はる 「みんなにありがとうって言いたいのかな？」
ようすけ 「そうやな」

ちょうちよになつてな

5歳児

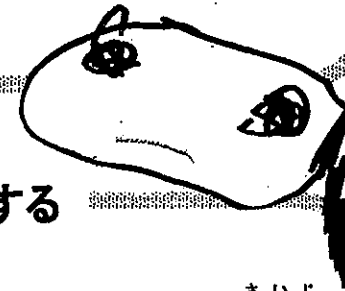
アゲハチョウの青虫が飼育箱から逃げ出し、部屋のゴミ箱でサナギになってしまいました。

たく 「ちょうちよにならへんなあ」
はる 「だいじょうぶかなあ」
「ゴミ集め当番の時に、やさしくゴミ箱さわった方がいいよな！」
たく 「さわらんように しなあかな」
はる 「がんばって ちょうちよになつてな！」
たく 「がんばれ～！」

見てへんのに

5歳児

子ども達がトイレに行った時、散らばっているスリッパを見て。
あきら 「あっ スリッパがばらばらになってる」
きょうこ 「ほんまや～」
あきら 「のりちゃんがしたんとちゃう？」
きょうこ 「あきらちゃん、のりちゃんがしたの見てたん？」
あきら 「ううん 見てない」
きょうこ 「見てへんのに、そんなん言われたら のりちゃん、いややで」
きょうこ 「決めつけた見方に対して、おかしいと感じ、しっかり返してくれた。きょうこちゃん言葉でした。」



やっぱりこっちする

2歳児

砂場のコップでカンパイ～とコップを合わせて三人の友達と楽しんでいた けいこちゃん。友達はぶらんこへ遊びに行き、「おーい」とけいこちゃんを呼びました。けいこちゃんは、抱かれてぶらんこに乗ってはみたものの体をよじって嫌がる。

保育者 「ぶらんこいややった？まだ、カンパイしたい？」

けいこちゃんは、カンパイして遊んでいた方に手を伸ばす。

保育者 「そっか、じゃあ戻って続きしようか」

けいこちゃんは、砂場に戻って続きをはじめると笑顔になった。普段は友達とぶらんこに乗るのも大好きな けいこちゃん。でも今はこれがしたい もっと続きがしたかった と自分なりの表現で伝えていました。

子どもをつぶやき

第23回
平成28年度(2016年度)



21世紀を になう子どもたちに

次代をになう子どもたちが、生き生きと、健やかに育ち、力を合わせて明るい未来をつくりあげてくれることを誰もが望んでいます。しかし、世界はもちろん、日本においても様々な差別に苦しみながら生活をしている子どもたちがいます。「子どもの権利条約」にみられるように、子どもが一人の人間として尊ばれ、よりよい環境の中で成長・発達できるようにしていくことが重要な課題となっています。

豊中市では、平成25年(2013年)4月に「豊中市子ども健やか育み条例」を制定し、子ども一人一人が健やかに育ち、そして、子どもや子育て家庭に関わる全ての人がつながり、社会全体で子どもを愛情深く育む地域社会の実現をめざしています。

就学前施設では、「豊中市人権保育基本方針」にもとづき、一人一人の子どもの人権を大切にすることを基本に、すべての子どもに豊かな感性を育てお互いを大切にすることを培い、人権尊重の基礎的な資質を養うことをめざした人権教育・保育をすすめています。

「子どもをつぶやき」は、人権教育・保育の中で大切にしてきた取り組みの一つです。



男だって泣いてええのん

5歳児

机に足をぶつけた。あつしちゃん。
傍にいた男性保育者に訴えにきました。

あつし 「机で足ぶつけていたかったわ…」
保育者 「大丈夫か？」

あつし 「うん。痛いけど…男やから、パパに泣いたらあかんって言われてるねん」

保育者 「痛かったら泣いてもええねんで…。先生だって痛い時は涙でてるもん」

あつし 「男だって泣いてええのん？」
「大人でも泣いてもええのん？」



かっこいいも かわいいも

両方あるんやで

3歳児

保育者 「すごーい はなこちゃんかっこいいね！」

ひろこ 「かっこいいじゃなくて かわいいでしょ。
女の子は、かわいいなんだよ」

はなこ 「ちがうでー。女の子でもかっこいいときあるもんなー」

えいじ 「そうやで。えいじだって、お母さんがいつもかわいい、かわいって言うから、かっこいいも かわいいも 両方あるんやで」

ひろこ 「そうよ ひろちゃんも、かっこいいとかわいいだよ」

やった～

2歳児

昼寝の前、パジャマに着替えていた時
パジャマのボタンがとめられない こうたちゃん。
無言で一生懸命とめようとしていると

あいこちゃんが気がついて手伝う。でも、なかなかとめられず、その様子を見て、るいちゃんがやってきて手伝う。しばらくして、とめることができ、

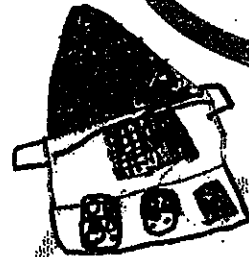
るい 「やったー！」「やったー！」
あいこ・こうた 「やったー！やったー！」

三人で嬉しそうに飛び跳ねていた。
大人が何も言わなくても、困っている友達に気づき、何とかしようとする姿がありました。



仲間と

つながっていこうとする姿



おっきな まるなつたなー

1歳児

「うみだ うみだ」のあそびをみんなですり始めると
けんたちゃんが入ろうとせず座り込んでいました。

保育者 「けんちゃん つなごー」

けんた 「イヤー」

保育者 「今はしたくないかなー 先やとくよ。」

うみだーうみだーと歌い始める

たけし 「けんちゃん いないやん」

ゆき 「けんちゃん しよー」

けんたちゃんは、立ち上がり ゆきちゃんと手をつなぐ

たけし 「おっきな まるなつたなー」

おともだち きてるかな

1-2歳児

お母さんにバギーを押してもらってクラスで散歩に出かけ、歩道がないので1列で歩いていました。

えみ バギーに乗りながら「おともだちきてるかな～」と何回か後ろを振り向く

保育者 「あきらちゃん 来てますか」

「けいこちゃん 来てますか」

あきらちゃん・けいこちゃんの母が代弁して返事

保育者 「みんな来てるよ。えみちゃん ありがとう」

えみ そのたび振り向いて、笑って友達に来ていた

クラスの友達のことを意識し、バギーに乗っていると前しか見えないのでみんな来ているか後ろを気にしていました。
保育者や母が代弁し えみちゃんは嬉しそうな表情をしていました。



一緒に行こう

2歳児

クラスで運動会に向けてかけっこをしていました。
名前を呼ばれてもなかなかスタートラインに行けないかよちゃんがありました。

まさおちゃんが かよちゃんの姿に気づき、手をつなぎ二人でスタートラインに立つ。

保育者 「よーいどん！」

まさおちゃん走りだす。かよちゃんは立ったまま。

保育者 「かよちゃん、おいでー」

まさおちゃんは、かよちゃんの姿に気づき、スタートラインまで戻り、手をつなぐ

まさお 「行こう」

かよちゃんは、泣きながらも手をつなぎ歩き始め、二人でゴールしました。

ぎゅ～っていっぱいしてほしい

3歳児

「お家の人にどんなことをしてもらったらうれしいかな」と話をしていました。

あつし 「だいすき ありがとうって言われたらうれしい」

まな 「おこらないでお話してくれたら」

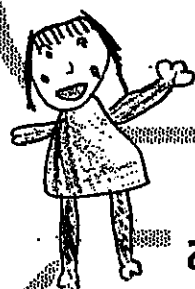
しずみ 「いっしょにあそんでくれたら」

だい 「すきすきしてもらったら、うれしい」

ふみや 「ぎゅ～してもらったら、うれしい」

けん 「おれ、ぎゅ～してない！ ぎゅ～っていっぱいしてほしい」

きみ 「わたしもぎゅ～してない！してほしい」



てっだ お手伝い、がんばるねん！

4歳児

末っ子のみなこちゃんは、お母さんとお姉さんが大好き。ある朝、いつもより嬉しそうにスキップしながら登園してきました。

みなこ 「先生、耳かーしーて！」

保育者 「なーあーに？」

みなこ (小声で)「あんな、みなこのおかあさん、おなかに赤ちゃんいるねん。」

保育者 「そうなん！おめでとう！」

みなこ 「おかあさん、おなかが大きくてしんどいからおうちにいるねん。だからみなこ、おかあさんのお手伝いがんばるねん！ 赤ちゃん楽しみやな…」



あかねは あおいろがすきやねん

5歳児

保育者 「好きな色の折り紙えらんでね～」

あかねちゃん、水色を選ぶ

よしお 「え～っ！あおいろは、おとこのこのいろやのに」

あかね 「ちがうわ！ あかねは、あおいろがすきやねん！」

よしお 「そうなん…」

たいの たいのとんでけー

1歳児

柵に頭をぶつけた たつやちゃん。保育者に抱かれて泣いていると子どもたちが集まってきました。

ちひろちゃんが たつやちゃんの頭をなでながら

ちひろ 「たいの たいの とんでけー」



だっことおんなじ

4歳児

給食時に「だっこ好き？」「だっこしてもらおう？」という話になった時

りさ 「だっこ しないわ。かあちゃん いそがしいねん」

保育者 「そうか…そんなに忙しいの？」

りさ 「うん。でもな ごはん作ってくれるねん」「しごとしてるしな」

保育者 「いっぱいすることあるねんね」

りさ 「うん。ねるときな ひつついてねるねん」

お母さんの姿を思い浮かべ、表情がどどんとこやかになりお母さんとのうれしいことを話してくれました。

「だっこ」ではないけれど「だっこ」と同じくらいうれしいと感じられたんですね。

もう、ちょっとまったよ

2歳児

保育者が、迎えに来た保護者と話をしていると

はるか 「だっこして～よ～」

保育者 「お話してるから、ちょっとだけ待ってね」

はるか 「もう、ちょっとまったよ」

両手を広げて「だっこして」のポーズ
大人はふだん何気なく言っている言葉ですが、ハツとした一言でした。

「がんばってね」「がんばったよ」

3歳児

シール帳を友達一人一人に渡していく当番活動をしている時、この日初めて当番をする のりかちゃんに

すすむ 「がんばってね」

のりか 「ありがとー」(とてもいい笑顔)

のりかちゃんが全員に配り終わると、

すすむ 「がんばったね」

のりか 「がんばったよ」

すすむちゃんは、大丈夫かなと、応援するつもりで見守り、配り終わりに、ほっとした様子を見せていました。

のりかちゃんも励まし、見守ってくれているすすむちゃんの気持ちがわかり、うれしい表情を見せていました。

「おこりじぞう」をよんで

4歳児

絵本を読んだ後、「なんで おじぞうさんは 怒ったのかな」と投げかけると

ゆき 「たおれた(建物)から いやだった」

こうじ 「みんなをたすけたい」

しんた 「花とかみんな こわれたから」

「女の子に水を飲ませたいねん」

あきこ 「人が死んだから」

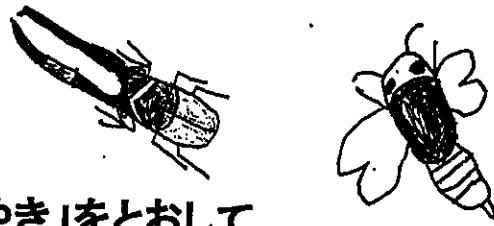
のり 「おなかすいたり、つぶれたことがいやだった」



子どものつぶやき

子どもたちは、日ごろから友だちや大人と関わって遊び、生活する中で“うれしいこと”“悲しいこと”“驚いたこと”“腹が立つこと”“求めたり望んだりしていること”など様々なことを感じ、表現しています。

このような子どもたちの「思い」を表現したものを、言葉だけでなく、しぐさ・動き・表情などを含めて、「つぶやき」としてとらえています。



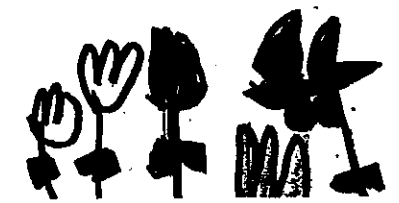
「つぶやき」とおして

公立こども園・民間保育所(園)・児童発達支援センターなどの就学前施設では、「つぶやき」とおして、子どもの生活や友だちへの「思い」をしっかり受け止め共感するとともに、周りの友だちに伝え広げていくことを大切にしてきました。

このことは仲間とともに生きる子どもを育み、さらには、一人一人の子どもの人権を守ることに繋がっていくと考えています。

子どもの姿や思いを私たち大人がしっかりととらえ、教育・保育を見直しながら、子どもたちの人権についてこれからも考えていきたいと思えます。

ここに紹介している「つぶやき」は、「平成28年度(2016年度)子どものつぶやき展」で展示している「つぶやき」です。



子どもの「つぶやき」は
明日への期待がいっぱい

そんなときあるよ

4歳児

園庭で転んで泣いている なおきちゃんのそばに まみちゃんが来て声をかけました。

なおきちゃん 泣いている

まみ 「どうしたん？」

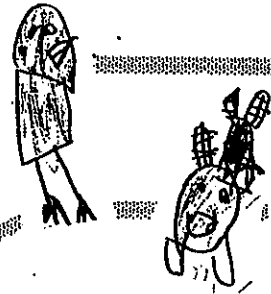
なおき 「・・・」

まみ 「だいじょうぶ？」

なおき 「・・・」

まみ 「いたくて、話されへんのかな・・・」

そんなときあるよ



おいで～

0歳児

朝のおやつを食べようと手を洗っていました。保育者が呼んでも一人で遊んでいる みどりちゃんの姿に さきちゃんが気づきました。

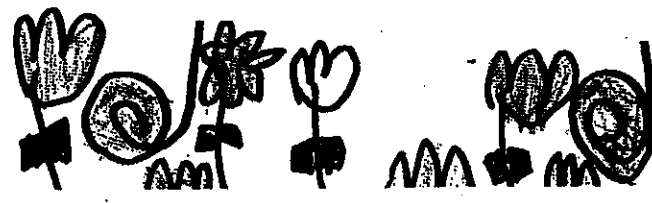
さき 「おいで～」と みどりちゃんの方を振り向き近寄っていく

みどり さきちゃんの方をみるが、ビジーボードで遊んでいる

さき みどりちゃんのすぐそばまで行き、顔を覗き込んで手で「おいで～」をする

みどり さきちゃんについていき、手を洗う

「ともだちといっしょ」という意識が出てきて、友達を誘う姿が出てきた さきちゃん。言葉で言わなくてもしぐさで友達に伝えています。そんな さきちゃんに呼ばれて みどりちゃんも嬉しそうです。



ここにおいて

3歳児

おやつ時間、こはるちゃんの隣に座りたかった せいちゃん。
こはるちゃんの隣には しんちゃんが座っていました。

せいちゃん、椅子をもって

せい 「ここ(こはるちゃんの隣)がいい～」と泣く

しん 「わかった こっちくるわ」

自分の椅子を横にずらして

しん 「こはるちゃん こっちきて」

こはるちゃんが真ん中に来るように誘う

しん 「せいちゃん ここにおいて。三人すわりしよう」

せいちゃんは、泣き止んで こはるちゃんの隣に椅子をもっていく。

自分の思いと友達のおもひの両方をかなえるために、どうしたらいいか考えて行動した姿です。



いっこしかないねんで!

4歳児

クラスで、絵本「だいすきなおばあちゃん」の読み聞かせをしているとき、おばあちゃんが死んでしまったシーンをみて...

まちこ 「いのちっていっぱいあるから、いきかえるで～」

しゆん 「ちがうで～(いのちは)いっこしかないねんで! おれのおじいちゃんのとてだってそうやったもん」

こうじ 「(クラスで飼っていた)かぶとむしもいきかえらへんかったもんな～」



トントンしないで

2歳児

昼寝の時、子ども達のそばで、保育者が一人一人を寝かせていると

まさひろ 「トントンしないで！」

「トントンしていると先生の顔見えない」

そばから離れると、笑顔を見せて

まさひろ 「先生の顔見ていると、安心するから

トントンしないで寝れるねん」